

被災地に向け黙とうするRNNメンバーら—北区尾上で

5宗派が合同慰霊祭

北区 宗教超え祈り



県内の宗教団体が宗
教や宗派などの枠を超
えて連携する「人道援
助宗教NGOネットワ
ーク（RNN）」（永
宗幸信委員長）による
「東日本大震災RNN
慰霊祭」が29日、北区
で営まれた。

県内の仏教系、神道
系、キリスト教系の5
宗教団体が参加した。
冒頭、永宗委員長が「現
地に向けて、行方不
明者の早期発見、被
災地の復興の願う」と
趣旨を説明し、「そ
れぞれの祈りをしてほ
しい」とあいさつ。地
震の起こった時刻の
午後2時46分に参加
者全員で黙とうした
後、読経したり、聖歌
を歌うなど、5宗派が

順にそれぞれの祈りを
ささげた。

RNNメンバーで僧
侶の宮本龍門さんは国
際医療救済団体「AM
DA」調整員として現
地に行き、遺体安置所
などで読経した。「遺
体安置所の光景やにお
いなどは一生忘れられ
ないだろう」と振り返
り、「祈りは真実の追
究で、どんな困難を前
にしても希望を持って
明日を切り開いていけ
る」と話した。

昨年のRNNはこれ
まで、ハイチ大地震の
際にヒーリングコンサ
ートを行ったが、慰霊
祭を合同で営むのは初
めてという。

東日本大震災

【石井尚】